

かの國ありて一に終ひてはありて事ありて終は彼砂ともて
系々せらる事と成ぬ依く諏訪の神を鷹の神と仰く
故の一説とてとあるもやう衆又或鷹書よ大鷹と
鹿島 鷄ハ熱田 雀隼ハ住吉 隼ハ諏訪 など此四神の守りと
引ゆくわけと又或鷹書よ鷹野ありて咒文とある
其中は諏訪住吉の神に御名もと又ハ幡靈鳥鷹と
云事もこれに彼筑前と傳へて三韓征伐の故更中
よりあるやうな事ゆ引合せ考へてゐる事ともて
さう七嶺の鈴鹿事たる本のはよれば鷹人
多くゆくとおもひ得るものもさう又七並と云名